

# キノコいろいろ

## ソライロタケなど希少種も

秋本番。身近な里山で、色鮮やかなキノコが例年になく「豊作」となっている。今年は9月に雨が多く気温も高いという、生育には絶好の環境に恵まれたためだ。神戸市の六甲山にある市立森林植物園(同市北区)では、スカイブルーの珍しいキノコ「ソライロタケ」の姿も。見頃は10月いっぱい、足元に目を凝らせば、珍しいキノコたちとの出会いが待っている。

### ■神戸・森林植物園■

ソライロタケは、イッポンシメジ科のキノコ。兵庫県内で広範囲に分布しているが、県版レッドリストでは「一度に発生する個体が少なく、出会う機会も少ない」として「要注目種」に位置付けられる。10月上旬、同園を訪れると細かく、けば

(鈴木雅之)

ケ」も園内の通路の脇に。このほか、赤い見た目が特徴的な「タマゴタケ」も観察できた。

「兵庫きのこ研究会」所属の山上公人さん(57)は「園内を歩いて、発見する楽しみを体験してほし



①名前通りの空色が目を引くソライロタケ=いずれも神戸市北区山田町上谷上  
②ナギナタタケ  
③タマゴタケ ④フサタケ

